

青春の実験箱

小田原市立城山中学校

第3学年通信

第8号

2022年3月8日(火)

卒業する君たちそして保護者の皆さまへ！

さまざまなドラマを生んだ中学校3年間が終わります。明日はいよいよ卒業です。みなさんとはわずか3年間のつき合いでしたが、とても充実した日々でした。学習発表会や部活動、修学旅行や運動会、そして理科の授業など、みなさんと過ごした3年間の出来事が走馬灯のように思い出されます。だれ一人として大きな怪我をすることもなく、無事卒業できることを何よりも嬉しく思います。卒業おめでとう。たくさんの思い出をありがとう。明日は「卒業式」。新たな出会い、目標に向かって出発しよう。「3月9日～高校へ羽ばたけ We Can Fly～」を合い言葉に頑張ってきたみなさん。明日は胸を張って学校を後にしてほしいと思います。みなさんの今後の健闘を先生たちは祈っています。

次に保護者のみなさまにお願いします。「親の背中を見て子は育つ」と言いますが、保護者のみなさまが楽しい充実した人生を送っていれば、子どもは自然に前向きに楽しく過ごそうという姿勢が身につきます。言い方は悪いかもしれませんが、子どもの人生は所詮子どもの人生です。みなさんはまだまだ若いのですから、子どもには早く親離れしてもらって自分の人生を楽しんでください。

最後になりますが、3年間私たち職員を温かい眼差しで見守ってくださりまして本当にありがとうございました。職員一同、これからも日本の子どもたちの成長のために、最善の教育を目指し努力していきますので、ご協力のほどをよろしくお願いします。



＜中学校生活を終えて＞

「楽しかった。」赤学年と共に過ごしたこの日々を、私が一言で表すのなら、単純ですが、これに勝るものはないのではと思います。私は城中での生活を、温かい仲間にもまれて過ごすことができ、これまでの何十倍も「友達」という存在の大きさを強く感じています。まずは、部活動です。毎日のように顔を合

わせ、同じ時間を共有したテニス部の仲間には、たくさんの顔を見せ合い、お互いに刺激をもらい高め合ってくることができました。何より、部活を通して学んだ挨拶や気遣い、礼儀の大切さは、私のこれまでの意識や感覚を大きく変えてくれました。部活で得た周りを見る力、そしてすぐに行動する力は、クラスでもたくさん役に立ったし、これからももっと磨いていきたいと思っています。それから3年間務めた学年委員会と学習発表会実行委員会での活動では、委員の仲間とたくさん話し合い、創り上げた企画やお願いも、全ての人の協力と、「楽しかった」「ありがとう」の一言に何度も支えられ、自分も力になりたいと思うことができました。城中には、細やかな礼儀や挨拶など、当たり前前前のことを当たり前に出る人が多く、驚かされることばかりでした。城中で培った全ての経験は大きな自信となり、休み時間や授業中のたわいない会話、朝の「おはよう」という一言だけで毎日が彩っていきました。これまで、悲しいことや辛いこともあったけど、その何十倍も、楽しいことで溢れた毎日にとっても嬉しく思います。あの昇降口へ登校できるのも、残りわずか。寂しさもありますが、今一番に思うのは自分たちの全ての力を出し切って、最後に卒業式を完成させたい、ということです。そのために、残りの練習を皆で頑張りたいです。これまで支えてくれた家族や先生方、後輩たちに感謝の気持ちを持ち、高まる期待と共に、胸を張って城山中学校を卒業していきたいと思っています。私たちの中学校生活を彩ってくれた全ての人へ。本当にありがとうございました。(1組 S. Yさん)

3年生の後期に学年委員長を務めさせていただきました。学年の活動に協力していただきありがとうございました。ついに、この学年通信も最後で、しみじみと卒業を感じています。もう中学校生活3年間が終わると思うと、もう終わりなんだと感じるほど、早く感じました。3年間の中で、印象に残っているのはやはりコロナウイルスだと思います。コロナのせいで学校に来られなかったり、学校行事がなくなったりして、辛い思いや悩みを抱える人も多かったと思います。でもそんな中、自分たちで思い出を作ろうと、いろいろなことを企画し行っているのが、城中のみなさんのすごいところだと思います。僕たちは一人の人として成長したと思います。当たり前のことが当たり前に見える、素晴らしいことです。みなさんはこれから新しい場所での生活が待っています。みんな不安だと思います。僕も不安です。でも城山のみんななら大丈夫です。みなさん3年間楽しい生活をありがとうございました。またお会いしましょう。(1組 A. Hさん)

私にとって中学校のこの3年間は今までにないくらい早く過ぎ去っていき
ました。しかし、この3年間という短い間に私はたくさんのことを学び、成長
しました。その中でも私に大きな影響を与えたのは学年委員としての活動で
した。私は中一の前期に初めて学年委員を務め不安だったのですが、周りの友
達が支えてくれたおかげで、徐々に学年委員の仕事にも慣れていきました。委
員会での経験を通して自分の行動に責任を持つことの大切さを始め、クラス
のみんなの意見をまとめることの難しさなど様々なことを知りました。どれ
も簡単なことではなかったのですが、“学年の仲を深める”や“3年生として
城中の伝統を後輩へ引き継ぐ”など、ある一つのゴールに向けて委員会の仲間
と協力し、目標を達成することができたときには、とてもやりがいを感じまし
た。学年委員として活動できて楽しかったし、自分にとっても貴重な経験でし
た。これからも、学年委員を通して学んだことを忘れず、大切にしていきたい
と思います。(2組 H. Eさん)

卒業まであと数えるくらいしかありません。卒業するにあたり、これまでの
3年間で振り返ろうと思います。1年生。遠足に行っておカレー作りをして、仲
を深められました。学習発表会では、2・3年生の合唱を初めて聴き、とても
感動しました。2年生。新型コロナウイルスが日本でも流行し、突然学校が休
みになり、友達や先生方と会えない日々が長く続きました。運動会や遠足、学
習発表会の合唱が中止になって、僕は今まで当たり前でできていたことは当
たり前ではなく、周りの人たちのおかげで成り立っていることだと思い、去年
できていたことに感謝すべきだと思いました。3年生。あっという間に1・2
年生を引っ張っていく立場になりました。去年ほどはできなかった運動会や
学習発表会の合唱ができて、とても楽しくて良い思い出になりました。学年委
員を務めて身につけたことは2つあります。1つ目は、人前で緊張せずに話せ
るようになったことです。何回も人前で話すことによってなれました。2つ目
は、コミュニケーション力が付いたことです。誰かと話し合ったり、みんなと
話したりすることで自然と身に付きました。僕はこの作文に書ききれないほ
ど、3年間でたくさんを経験しました。楽しいこと、笑ったこと、悔し
いこと、悲しいこと、辛いこと、これまでの経験はみなさんの人生必ず役に立
つと思います。辛いときでも諦めずに頑張ってください。(2組 T. Sさん)

僕はまだ、卒業という実感がわかりません。まだこのメンバーであと1年くら
い過ごすつもりでいました。こんな風に思うのはきっと、コロナとかオミクロ

ンとかいうやつらのせいだと思います。やっぱり、この3年間は「コロナ」っ
て言うイメージが強いです。なんかずっと僕のそばをつきまどってくるよう
な、そんな存在でした。やつがそばにいて、たくさんの行事が、僕から
逃げていきました。修学旅行は3回も延期、2年のときは運動会の中止などが
ありました。ですが、コロナのおかげで僕は時間を大事にするようになりました。
コロナのせいで学校にいる時間は減って、仲間と過ごす時間も当然減りま
す。だから1日1日大切に、悔いのないように過ごしていこうと思いま
した。けどどうもない時間というのは変わらないため、2年生のときなんかは1年
が一瞬のように思えました。だから、3年生になって、今度は1秒1秒大切に
するというイメージでいました。するとそれまで無駄にしてきた時間がす
ごく大切に思えてきて、僕は時間の大切さを知りました。でも正直なところ、時
間を大切にすることが、最近いらないと思い始めています。大切にしすぎ
ると、逆に余裕がなくなりすごく疲れるし、焦るのであまりお勧めはしません。
最後になりますが、みなさん本当に3年間お疲れ様です。コロナのせいで、こ
の3年間、なんらかの息苦しさがあったと思います。たまには肩の力を抜いて
家にこもりましょう。休むことも大事です。高校生活は楽しみです。それ以
上に今は寂しい気持ちが正直なところ大きいです。でもきっとまた会える
と思うので、というか会いに行くので、そのときは僕の名前くらいは覚えてお
いてください。まあ女装していた人と覚えておけば多分忘れないと思うので、よ
ろしく。バイバイ。(3組 A. Sさん)

私は中学校生活を振り返って友達の大切さに改めて気づくことができました。
中学1年生のとき、初めて定期テストや遠足での班活動で「中学生では自
分の力で頑張らなければいけない場面が多くなる」ということを知りました。
慣れることに時間がかかり、悩んでしまうことも多々ありましたが、そんなと
きに助けてくれたのが友達でした。「いっしょにテスト勉強しよう。」「私も手
伝うよ。」と声をかけてくれた友達がたくさんいたので、苦手なテストなどにも
しっかりと向き合い、取り組むことができました。また、3年生の後期で学
年委員を務めていたときにも、友達が手伝ってくれる場面にたくさん出会う
ことができました。このように、自分がつらいと思うこと、少し大変だと思
うことは、これから先でも必ず起きてきますが、周りにいる友達の支えによ
ってお互いに高め合い、自分自身の安心にもつながると思います。私たちはもう
すぐ中学校を卒業し、それぞれの進路に進んでいきますが、高校生になってか
ら友達や周りの人を大切にしたいです。(3組 S. Mさん)